

生徒が望む教師像に関する一考察
—教師が与えた影響に関する調査から—

中野 絵里子 (生涯スポーツ学科 学校スポーツコース)
指導教員 中菌 伸二

キーワード：教師，影響力，教師像

1. 緒言

学校現場において，教師と生徒という関係は切れないものであり，少なくとも小学校6年間，中学校3年間の義務教育を受け，誰もが学校という場所に通ってきた．その中で数えきれないほどの「先生」という存在に出逢い，良くも，悪くも影響力を受けてきたのではないかと考える．

私自身も，数えきれないほどの教師という存在に出会い，たくさんの影響力を受けてきた．その一つの影響として教師を目指しているともいえる．教師になることを目前とした今，様々な視点から生徒は教師からどのような影響を受けているのか，また，どのような教師を求めているのかを知り，今後につなげていきたい．

そこで，本研究では，高校時代までの教師から受けた影響力について調査し，求められる教師像とはどのようなものなのかということをも明らかにする．

2. 研究方法

1) 対象

高校1年生～大学4年生計55名

2013年11月実施

2) 調査・分析方法

インターネットを活用した無記名・自己記入式の質問紙調査（教師が生徒に与えた影響や生徒が望む教師像に関する全7項目）

自由記述については，KJ法を用いて記述内容を分類した．

3. 結果及び考察

質問紙調査結果から

1) 教師に対しての印象は良い印象の方が多く比較的教師という存在は良い影響を与えているということが考えられる．

しかし，良い印象を答えた人の中にも，教師とのかかわりの中での嫌だったこと，言われて落ち込んだことという問いに，ほとんどが答えており，よくも悪くも生徒の心の中には残っていることが分かる．

2) 生徒は，教師に生徒理解というものを一番多く求めており，生徒を理解し，信じるという人間関係を結ぶこと，お互いに心を許せる存在であることが一番重要であると考えられる．

4. まとめ

教師が生徒に大きな影響を与えているということが，明らかになった．

また，教師像に関しては，生徒は教師に対して生徒理解というものを求めているということが，明らかになった．

引用・参考文献

林 清美 (2009) いま，児童生徒が望む教師とは．教育と医学，57 (1) : 34-42.

林 清美・橘 良治 (2007) 児童・生徒による影響力の認知．岐阜大学教育学部研究報告 人文科学，56 (1) : 193-203.

甲本 卓司 (2008) 子どもに好かれる先生・5つの法則．明治図書出版株式会社.